

【例題－獣医師 5】

細胞や組織の変性に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ラッセル小体とは、毒物中毒の際に肝細胞内に認められる硝子滴をいう。
2. 錯角化とは、病的角化のうち、角化が亢進して大量の角質層が形成される病態をいう。
3. 心臓病細胞とは、うっ血した腎臓の尿細管間質に認められる、細胞質内にビリルビンを含むマクロファージをいう。
4. ニーマンピック病と豚島アミロイド症は、いずれも遺伝性の脂質蓄積症の一種である。
5. 石灰化は、細胞質内にも間質組織にも認められる。石灰化巣は、組織化学的には硝酸銀を用いたコッサ反応で黒色を呈する。

(正答) 5